

## 運用報告書 (全体版)

### D I A M毎月分配債券ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2010年9月3日から無期限です。	
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	D I A M毎月分配債券ファンド	D I A M内外債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I A M内外債券マザーファンド	国内公社債および海外の国債等のソブリン債を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券の組入比率は、高位を維持することを基本とします。 国内公社債の実質組入比率は、原則として純資産総額の50%以上とします。 実質外貨建資産については、原則として為替フルヘッジを行います。 国内公社債と海外の国債等の実質組入比率は、各国の金利水準や経済ファンダメンタルズ等を勘案し決定します。	
組入制限	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

愛称：円パワース

第95期	<決算日	2018年7月23日>
第96期	<決算日	2018年8月23日>
第97期	<決算日	2018年9月25日>
第98期	<決算日	2018年10月23日>
第99期	<決算日	2018年11月26日>
第100期	<決算日	2018年12月25日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M毎月分配債券ファンド」は、2018年12月25日に第100期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

# DIAM毎月分配債券ファンド

## ■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	債券先物 比率	純資産 総額
		(分配落)	税金 込	分配 金			
第13作成期	71期(2016年7月25日)	円 9,495	円 10	% 0.4	% 96.5	% △19.6	百万円 3,097
	72期(2016年8月23日)	9,475	10	△0.1	94.2	△21.7	3,079
	73期(2016年9月23日)	9,409	10	△0.6	93.9	△19.8	3,098
	74期(2016年10月24日)	9,363	10	△0.4	90.9	△25.2	3,032
	75期(2016年11月24日)	9,219	10	△1.4	97.6	△9.9	2,858
	76期(2016年12月26日)	9,195	10	△0.2	95.6	—	2,779
第14作成期	77期(2017年1月23日)	9,182	10	△0.0	95.1	△8.8	2,726
	78期(2017年2月23日)	9,190	10	0.2	95.7	—	2,670
	79期(2017年3月23日)	9,192	10	0.1	95.4	△10.1	2,600
	80期(2017年4月24日)	9,223	10	0.4	95.8	△21.4	2,585
	81期(2017年5月23日)	9,196	10	△0.2	97.2	△9.4	2,555
第15作成期	82期(2017年6月23日)	9,215	10	0.3	95.5	△21.5	2,514
	83期(2017年7月24日)	9,195	10	△0.1	96.3	△13.2	2,491
	84期(2017年8月23日)	9,192	10	0.1	95.4	△26.3	2,475
	85期(2017年9月25日)	9,171	10	△0.1	96.8	△12.3	2,448
	86期(2017年10月23日)	9,131	10	△0.3	96.8	—	2,426
	87期(2017年11月24日)	9,134	10	0.1	96.3	—	2,412
第16作成期	88期(2017年12月25日)	9,112	10	△0.1	96.4	△2.4	2,361
	89期(2018年1月23日)	9,062	10	△0.4	95.9	—	2,316
	90期(2018年2月23日)	9,016	10	△0.4	95.5	△4.1	2,241
	91期(2018年3月23日)	9,037	10	0.3	92.2	△20.8	2,315
	92期(2018年4月23日)	8,980	10	△0.5	94.1	—	2,279
	93期(2018年5月23日)	8,958	10	△0.1	91.5	△7.1	2,237
第17作成期	94期(2018年6月25日)	8,993	10	0.5	90.4	△4.0	2,217
	95期(2018年7月23日)	8,979	10	△0.0	94.3	△8.2	2,194
	96期(2018年8月23日)	8,959	10	△0.1	93.8	—	2,164
	97期(2018年9月25日)	8,895	10	△0.6	94.4	△9.9	2,129
	98期(2018年10月23日)	8,891	10	0.1	94.4	△19.5	2,109
	99期(2018年11月26日)	8,910	10	0.3	95.0	△10.1	2,047
100期(2018年12月25日)	8,941	10	0.5	80.4	△10.1	2,018	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

## ■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率 債 比	債 券 先 物 率 債 比
		円	騰 落 率 %		
第 95 期	(期 首) 2018 年 6 月 25 日	8,993	-	90.4	% △4.0
	6 月 末	9,001	0.1	93.3	△8.0
	(期 末) 2018 年 7 月 23 日	8,989	△0.0	94.3	△8.2
第 96 期	(期 首) 2018 年 7 月 23 日	8,979	-	94.3	△8.2
	7 月 末	8,972	△0.1	94.1	△2.2
	(期 末) 2018 年 8 月 23 日	8,969	△0.1	93.8	-
第 97 期	(期 首) 2018 年 8 月 23 日	8,959	-	93.8	-
	8 月 末	8,954	△0.1	94.4	-
	(期 末) 2018 年 9 月 25 日	8,905	△0.6	94.4	△9.9
第 98 期	(期 首) 2018 年 9 月 25 日	8,895	-	94.4	△9.9
	9 月 末	8,898	0.0	94.5	△9.8
	(期 末) 2018 年 10 月 23 日	8,901	0.1	94.4	△19.5
第 99 期	(期 首) 2018 年 10 月 23 日	8,891	-	94.4	△19.5
	10 月 末	8,907	0.2	94.5	△9.8
	(期 末) 2018 年 11 月 26 日	8,920	0.3	95.0	△10.1
第 100 期	(期 首) 2018 年 11 月 26 日	8,910	-	95.0	△10.1
	11 月 末	8,914	0.0	95.5	△10.2
	(期 末) 2018 年 12 月 25 日	8,951	0.5	80.4	△10.1

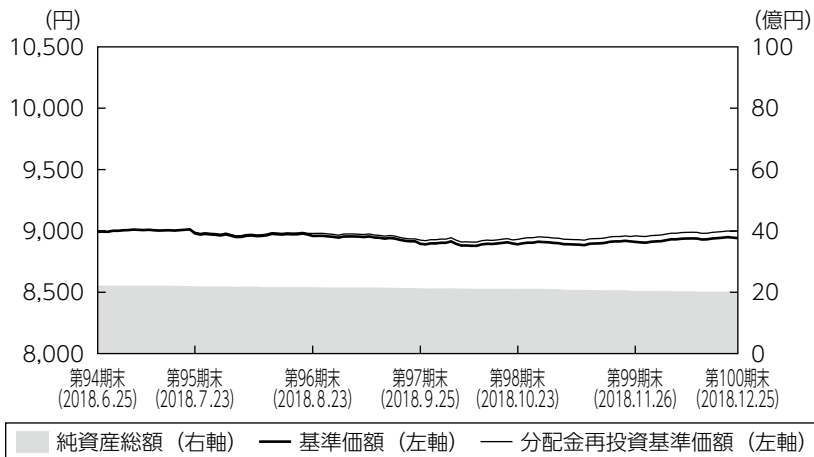
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■第95期～第100期の運用経過（2018年6月26日から2018年12月25日まで）

### 基準価額等の推移



第95期首：8,993円  
 第100期末：8,941円  
 （既払分配金60円）  
 騰落率：0.1%  
 （分配金再投資ベース）

- 純資産総額（右軸） — 基準価額（左軸） — 分配金再投資基準価額（左軸）
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米国と英国の中央銀行は利上げを決定し、ECB（欧州中央銀行）は量的緩和を終了させましたが、日本を含む主要国の国債利回りは、米中貿易摩擦などによる将来に対する景気への悲観的な見方から、前作成期末と比較して小幅な低下または横ばいとなり、基準価額は概ね横ばいとなりました。

## 投資環境

主要国（米国、英国、欧州など）の各中央銀行は金融政策の正常化を行ったものの、それらの影響によって株式や社債といったリスク性資産の価格は下落し、米中貿易摩擦による投資家のリスク選好度の悪化も相まって株式市場は大幅な下落となりました。こうしたリスク回避の動きが各国のPMI（購買者担当景気指数）等の先行指標の悪化に影響したとみられ、市場では将来の景気後退が意識されたことにより、日本を含む主要国の国債利回りは前作成期末比で低下または横ばいとなりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

D I AM内外債券マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用しました。

### ●D I AM内外債券マザーファンド

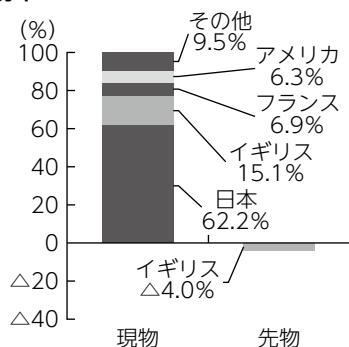
前作成期末比で国内債券と比べて相対的に期待リターンの高い外国債券のうちドイツ長期国債等の組入比率を引き上げました。通貨ごとのデュレーション<sup>\*</sup>については、債券先物によるヘッジ取引を活用して機動的にコントロールをしました。

<sup>\*</sup>金利変動に対する債券価格の変動性。

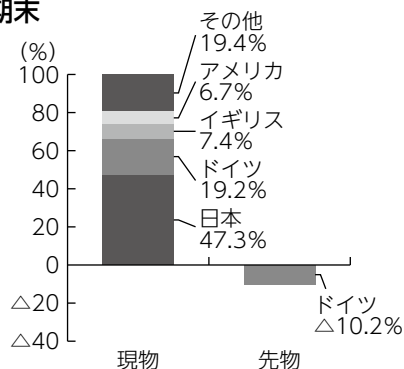
## 【D I AM内外債券マザーファンドの運用状況】

### ○国別構成比

#### 前作成期末



#### 当作成期末



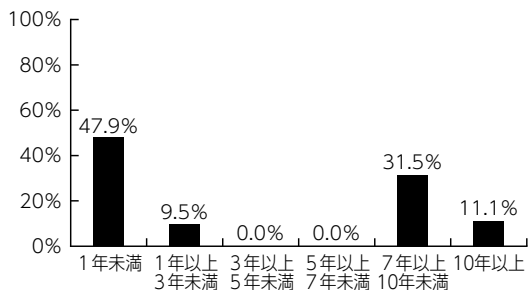
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 発行国（地域）を表示しています。

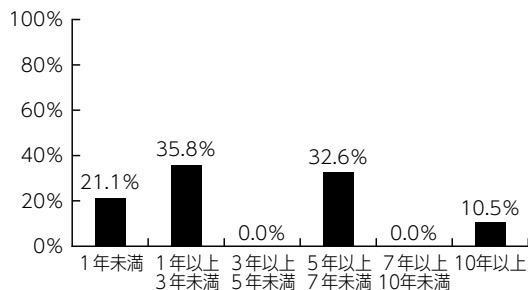
(注4) 先物（売建）はマイナスで表示しています。

○国内公社債の残存年限別構成比  
前作成期末

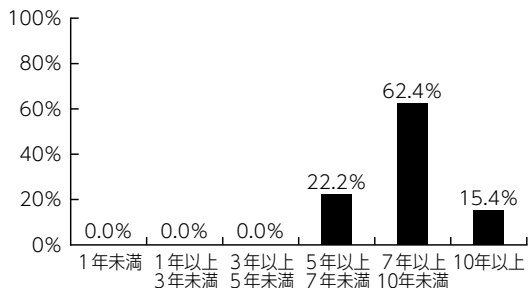


(注) 比率は国内公社債の評価額に対する割合です。

当作成期末

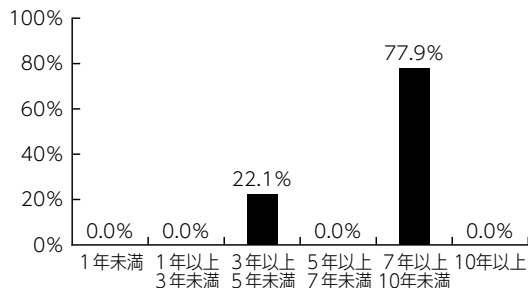


○海外の国債等の残存年限別構成比  
前作成期末



(注) 比率は海外の国債等の評価額に対する割合です。

当作成期末



## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2018年6月26日 ~2018年7月23日	2018年7月24日 ~2018年8月23日	2018年8月24日 ~2018年9月25日	2018年9月26日 ~2018年10月23日	2018年10月24日 ~2018年11月26日	2018年11月27日 ~2018年12月25日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%
当期の収益	6円	5円	4円	4円	7円	6円
当期の収益以外	3円	4円	5円	5円	2円	3円
翌期繰越分配対象額	352円	348円	342円	336円	333円	330円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、D I AM内外債券マザーファンドを組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。今後もマザーファンドの組入比率を高位に維持します。

### ●D I AM内外債券マザーファンド

金融政策の方向性等によって国債利回りの相対的な魅力度は変動するため、各国の経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）を注視しながら円債・外債それぞれの比率を変更していく方針です。また、債券先物によるヘッジ取引を活用することによって機動的に金利変動リスクをコントロールしていく方針です。

## ■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第95期～第100期 (2018年6月26日 ～2018年12月25日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	27円	
(投信会社)	(11)	(0.124)	
(販売会社)	(14)	(0.162)	
(受託銀行)	( 1)	(0.016)	
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(先物・オプション)	( 0)	(0.003)	
(c) その他費用	1	0.007	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(保管費用)	( 0)	(0.004)	
(監査費用)	( 0)	(0.002)	
(その他)	( 0)	(0.002)	
合計	28	0.312	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 信託報酬率（年率）は、毎年6月および12月の各計算期末において見直すこととし、各前月末における日本相互証券株式会社の発表する新発10年固定利付国債の利回り（終値）に応じて決定され、当該計算期末の翌日から適用するものとします。  
2018年5月31日の新発10年固定利付国債の利回り（終値）は0.030%であったため、信託報酬率は0.6048%（税抜0.560%）を適用しています。

(注3) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年6月26日から2018年12月25日まで）

	第 95 期 ~ 第 100 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
DIAM内外債券マザーファンド	千□ 902	千円 1,000	千□ 186,443	千円 207,500

■利害関係人との取引状況等（2018年6月26日から2018年12月25日まで）

【DIAM毎月分配債券ファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【DIAM内外債券マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	第 95 期 ~ 第 100 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 2,059	百万円 151	% 7.4	百万円 2,020	百万円 160	% 7.9

平均保有割合 100.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	第16作成期末	第 17 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
DIAM内外債券マザーファンド	千□ 1,985,597	千□ 1,800,056	千円 2,014,802

<補足情報>

■D I A M内外債券マザーファンドの組入資産の明細

下記は、D I A M内外債券マザーファンド（1,800,056,164口）の内容です。

(1) 公社債

A 債券種類別開示

(A) 国内（邦貨建）公社債

区 分	2018年12月25日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	840,000	852,066	42.3	—	20.3	—	21.9
特 殊 債 券	100,000	100,439	5.0	—	—	—	5.0
合 計	940,000	952,505	47.3	—	20.3	—	26.9

(注) 組入比率は、2018年12月25日現在のマザーファンド純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 外国（外貨建）公社債

区 分	2018年12月25日現在							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
ア メ リ カ	1,000	1,233	135,763	6.7	—	6.7	—	—
イ ギ リ ス	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円					
	1,000	1,063	148,513	7.4	—	—	7.4	—
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ	千円					
ド イ ツ	3,000	3,085	387,022	19.2	—	19.2	—	—
合 計	—	—	千円 671,299	33.3	—	25.9	7.4	—

(注1) 邦貨換算金額は、2018年12月25日現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、2018年12月25日現在のマザーファンド純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

B 個別銘柄開示（邦貨建及び外貨建）

(A) 国内（邦貨建）公社債

銘柄	柄	2018年12月25日現在			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
<b>(国債証券)</b>		%	千円	千円	
301回	利付国庫債券（10年）	1.5000	100,000	100,805	2019/06/20
388回	利付国庫債券（2年）	0.1000	250,000	250,917	2020/05/15
395回	利付国庫債券（2年）	0.1000	90,000	90,435	2020/12/01
340回	利付国庫債券（10年）	0.4000	170,000	176,240	2025/09/20
341回	利付国庫債券（10年）	0.3000	130,000	134,033	2025/12/20
59回	利付国庫債券（30年）	0.7000	100,000	99,634	2048/06/20
小	計	—	840,000	852,066	—
<b>(特殊債券)</b>		%	千円	千円	
7回	政保地方公営企業金融機構債券	1.4000	100,000	100,439	2019/04/15
小	計	—	100,000	100,439	—
合	計	—	940,000	952,505	—

(B) 外国（外貨建）公社債

銘柄	柄	2018年12月25日現在					
		種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
<b>(アメリカ)</b>			%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
US T N/B	5.5 08/15/28	国債証券	5.5000	1,000	1,233	135,763	2028/08/15
小	計	—	—	1,000	1,233	135,763	—
<b>(イギリス)</b>			%	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円	
UK TREASURY	2.25 09/07/23	国債証券	2.2500	1,000	1,063	148,513	2023/09/07
小	計	—	—	1,000	1,063	148,513	—
<b>(ユーロ…ドイツ)</b>			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
DEUTSCHLAND	0.5 02/15/28	国債証券	0.5000	3,000	3,085	387,022	2028/02/15
小	計	—	—	3,000	3,085	387,022	—
合	計	—	—	—	—	671,299	—

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	柄	別	2018年12月25日現在	
			買建額	売建額
外国	EURO-BUND FUTURE		百万円 —	百万円 204

(注) 外貨建の評価額は、2018年12月25日現在の時価を期末の仲値により、邦貨換算したものです。

## ■投資信託財産の構成

2018年12月25日現在

項 目	第 17 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
D I A M 内 外 債 券 マ ザ ー ファ ン ド	千円 2,014,802	% 99.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,731	0.4
投 資 信 託 財 産 総 額	2,023,534	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2018年12月25日現在、D I A M内外債券マザーファンドは725,799千円、35.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年12月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.07円、1イギリス・ポンド=139.68円、1ユーロ=125.44円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年7月23日)、(2018年8月23日)、(2018年9月25日)、(2018年10月23日)、(2018年11月26日)、(2018年12月25日)現在

項 目	第 95 期 末	第 96 期 末	第 97 期 末	第 98 期 末	第 99 期 末	第 100 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>2,206,438,768円</b>	<b>2,167,990,461円</b>	<b>2,133,558,910円</b>	<b>2,114,119,920円</b>	<b>2,068,379,239円</b>	<b>2,023,534,519円</b>
コール・ローン等	3,656,757	4,411,461	3,916,089	7,019,118	6,753,909	3,731,655
D I A M 内 外 債 券 マザーファンド(評価額)	2,190,782,011	2,160,579,000	2,125,642,821	2,106,100,802	2,043,625,330	2,014,802,864
未 収 入 金	12,000,000	3,000,000	4,000,000	1,000,000	18,000,000	5,000,000
<b>(B) 負 債</b>	<b>11,600,434</b>	<b>3,542,523</b>	<b>4,472,787</b>	<b>4,882,272</b>	<b>21,218,536</b>	<b>4,599,909</b>
未 払 収 益 分 配 金	2,444,486	2,415,870	2,393,680	2,372,361	2,297,542	2,258,161
未 払 解 約 金	8,122,086	-	895,314	1,520,973	17,739,653	1,359,666
未 払 信 託 報 酬	1,027,092	1,119,274	1,176,042	982,742	1,173,978	975,965
そ の 他 未 払 費 用	6,770	7,379	7,751	6,196	7,363	6,117
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,194,838,334</b>	<b>2,164,447,938</b>	<b>2,129,086,123</b>	<b>2,109,237,648</b>	<b>2,047,160,703</b>	<b>2,018,934,610</b>
元 本	2,444,486,295	2,415,870,743	2,393,680,435	2,372,361,873	2,297,542,364	2,258,161,076
次 期 繰 越 損 益 金	△249,647,961	△251,422,805	△264,594,312	△263,124,225	△250,381,661	△239,226,466
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>2,444,486,295□</b>	<b>2,415,870,743□</b>	<b>2,393,680,435□</b>	<b>2,372,361,873□</b>	<b>2,297,542,364□</b>	<b>2,258,161,076□</b>
1万円当たり基準価額(C/D)	8,979円	8,959円	8,895円	8,891円	8,910円	8,941円

(注) 第94期末における元本額は2,466,095,613円、当作成期間(第95期～第100期)中における追加設定元本額は10,768,399円、同解約元本額は218,702,936円です。

## ■損益の状況

〔自 2018年6月26日 至 2018年7月23日〕〔自 2018年7月24日 至 2018年8月23日〕〔自 2018年8月24日 至 2018年9月25日〕〔自 2018年9月26日 至 2018年10月23日〕〔自 2018年10月24日 至 2018年11月26日〕〔自 2018年11月27日 至 2018年12月25日〕

項 目	第 95 期	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期
(A) 配 当 等 収 益	△277円	△270円	△233円	△236円	△294円	△268円
受 取 利 息	—	1	—	1	5	1
支 払 利 息	△277	△271	△233	△237	△299	△269
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	11,706	△1,153,003	△11,902,275	2,475,542	7,922,549	10,103,271
売 買 益	39,135	44,656	30,193	2,489,766	8,026,861	10,178,965
売 買 損	△27,429	△1,197,659	△11,932,468	△14,224	△104,312	△75,694
(C) 信 託 報 酬 等	△1,033,862	△1,126,653	△1,183,793	△988,938	△1,181,341	△982,082
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△1,022,433	△2,279,926	△13,086,301	1,486,368	6,740,914	9,120,921
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△166,737,505	△168,080,731	△171,052,340	△184,679,180	△179,602,921	△172,061,959
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△79,443,537	△78,646,278	△78,061,991	△77,559,052	△75,222,112	△74,027,267
(配 当 等 相 当 額)	(38,366,500)	(37,955,119)	(37,644,036)	(37,354,922)	(36,202,378)	(35,604,385)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△117,810,037)	(△116,601,397)	(△115,706,027)	(△114,913,974)	(△111,424,490)	(△109,631,652)
(G) 合 計 (D + E + F)	△247,203,475	△249,006,935	△262,200,632	△260,751,864	△248,084,119	△236,968,305
(H) 収 益 分 配 金	△2,444,486	△2,415,870	△2,393,680	△2,372,361	△2,297,542	△2,258,161
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△249,647,961	△251,422,805	△264,594,312	△263,124,225	△250,381,661	△239,226,466
追 加 信 託 差 損 益 金	△79,443,537	△78,646,278	△78,061,991	△77,559,052	△75,222,112	△74,027,267
(配 当 等 相 当 額)	(38,367,408)	(37,956,055)	(37,644,692)	(37,355,368)	(36,202,891)	(35,604,725)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△117,810,945)	(△116,602,333)	(△115,706,683)	(△114,914,420)	(△111,425,003)	(△109,631,992)
分 配 準 備 積 立 金	47,782,327	46,127,238	44,268,809	42,460,522	40,487,067	38,969,131
繰 越 損 益 金	△217,986,751	△218,903,765	△230,801,130	△228,025,695	△215,646,616	△204,168,330

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 95 期	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,689,388円	1,356,975円	995,568円	1,003,872円	1,688,354円	1,456,211円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	38,367,408	37,956,055	37,644,692	37,355,368	36,202,891	35,604,725
(d) 分 配 準 備 積 立 金	48,537,425	47,186,133	45,666,921	43,829,011	41,096,255	39,771,081
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	88,594,221	86,499,163	84,307,181	82,188,251	78,987,500	76,832,017
(f) 1万口当たり当期分配対象額	362.42	358.05	352.21	346.44	343.79	340.24
(g) 分 配 金	2,444,486	2,415,870	2,393,680	2,372,361	2,297,542	2,258,161
(h) 1万口当たり分配金	10	10	10	10	10	10

## ■分配金のお知らせ

決算期	第 95 期	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期
1万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

# D I A M内外債券マザーファンド

## 運用報告書

第8期 (決算日 2018年6月25日)

(計算期間 2017年6月24日～2018年6月25日)

D I A M内外債券マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信 託 期 間	2010年9月3日から無期限です。
運 用 方 針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主 要 投 資 対 象	国内公社債および海外の国債等のソブリン債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率			
4期(2014年6月23日)	円 10,553	% 2.1	% 97.3	% △14.9	百万円 6,331
5期(2015年6月23日)	10,758	1.9	97.3	△8.8	4,292
6期(2016年6月23日)	11,293	5.0	94.5	△35.3	3,239
7期(2017年6月23日)	11,206	△0.8	95.7	△21.5	2,509
8期(2018年6月25日)	11,149	△0.5	90.5	△4.0	2,213

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

## ■当期中の基準価額の推移

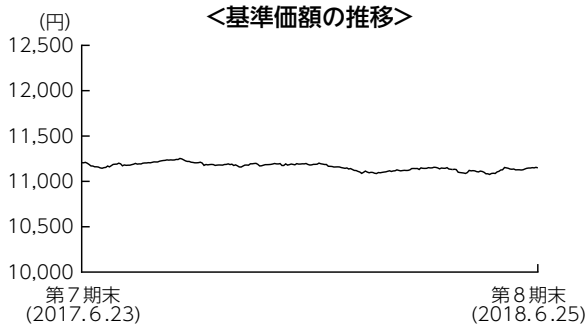
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債券組入比率	債券先物比率
		円	%		
(期 首) 2017年 6 月23日	11,206	円	%	95.7	△21.5
6 月 末	11,170		△0.3	96.4	△30.2
7 月 末	11,178		△0.2	95.6	△13.2
8 月 末	11,234		0.2	95.7	－
9 月 末	11,186		△0.2	96.5	－
10 月 末	11,179		△0.2	96.1	△12.4
11 月 末	11,175		△0.3	97.1	－
12 月 末	11,194		△0.1	97.0	△11.5
2018年 1 月 末	11,119		△0.8	94.6	－
2 月 末	11,109		△0.9	95.7	△11.6
3 月 末	11,148		△0.5	93.0	△15.6
4 月 末	11,097		△1.0	95.4	△5.8
5 月 末	11,149		△0.5	90.2	－
(期 末) 2018年 6 月25日	11,149		△0.5	90.5	△4.0

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。



## ■当期の運用経過（2017年6月24日から2018年6月25日まで）



### 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は11,149円となり、前期末比で0.5%下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

国内の国債利回りは金融政策の影響で概ね横ばいであったものの、堅調な景気と金融政策の正常化の影響で海外の国債利回りが上昇（価格は下落）したことなどがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

## 投資環境

2017年8月頃に、米国政治の停滞や北朝鮮での地政学リスクの高まりなどによって、世界的に国債利回りが低下（価格は上昇）する局面があったものの、金融引き締めを行った米国とイギリスでは前期末比で国債利回りが上昇しました。欧州では、ドイツやフランスで国債利回りは2018年2月頃まで上昇基調でした。期末にかけてはイタリアのユーロ圏離脱懸念によるリスク回避の動きによってイタリア国債の利回りが上昇する一方で、ドイツとフランスの利回りは低下し、前期末比で小幅のプラス圏まで上げ幅を縮小しました。

## ポートフォリオについて

前期末のおおよそ外債40%、円債60%の比率から、海外の金利低下時には外債比率を引き下げ、金利上昇時には魅力度の高い外債比率を引き上げるといった機動的なオペレーションを実施しました。海外金利のうち特に米国債利回りについては金利上昇傾向にあるため、期末に米国債の比率を引き下げ、おおよそ外債30%、円債70%の比率にしました。通貨ごとのデュレーション\*については、債券先物によるヘッジを活用して機動的にコントロールをしました。

\*金利変動に対する債券価格の変動性。

## 今後の運用方針

各国の金融政策の見通しといったファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）の要素の他にも、為替ヘッジコスト控除後の利回りなどといった期待リターンも考慮して外債と円債の比率を機動的に調整する方針です。各国のデュレーションについては米国を中心に金融政策の正常化の局面にあると判断していることから、債券先物によるヘッジ取引を積極的に活用する方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	1円 (1)	0.010% (0.010)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.008 (0.006) (0.002)
合 計	2	0.018

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(11,161円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については7ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

## ■ 売買及び取引の状況 (2017年6月24日から2018年6月25日まで)

### (1) 公社債

			買 付 額	売 付 額
			千円	千円
国	内	国 債 証 券	3,056,492	3,419,633 (-)
		特 殊 債 券	462,858	- (135,000)
外	ア メ リ カ	国 債 証 券	千アメリカ・ドル 3,158	千アメリカ・ドル 7,073 (-)
	イ ギ リ ス	国 債 証 券	千イギリス・ポンド 1,714	千イギリス・ポンド 784 (-)
国	ユ ー ロ	フ ラ ン ス	千ユーロ 1,199	千ユーロ 1,309 (-)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## (2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国内 債券先物取引	百万円 -	百万円 -	百万円 1,506	百万円 1,506
外国 債券先物取引	百万円 -	百万円 -	百万円 5,195	百万円 5,633

(注) 金額は受渡代金です。

## ■利害関係人との取引状況等 (2017年6月24日から2018年6月25日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 4,275	百万円 -	% -	百万円 4,478	百万円 170	% 3.8
金 銭 信 託	46	46	100.0	46	46	100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券、資産管理サービス信託銀行です。

## ■組入資産の明細

### (1) 公社債

#### A 債券種類別開示

##### (A) 国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 710,000	千円 716,558	% 32.4	% -	% 26.5	% -	% 5.9
特 殊 債 券	655,000	659,450	29.8	-	-	-	29.8
合 計	1,365,000	1,376,009	62.2	-	26.5	-	35.7

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

##### (B) 外国（外貨建）公社債

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 1,000	千アメリカ・ドル 1,271	千円 139,477	% 6.3	% -	% 6.3	% -	% -
イ ギ リ ス	千イギリス・ポンド 1,800	千イギリス・ポンド 2,303	千円 334,892	15.1	-	15.1	-	-
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ	千円					
フ ラ ン ス	1,000	1,202	153,653	6.9	-	6.9	-	-
合 計	-	-	千円 628,023	28.4	-	28.4	-	-

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

B 個別銘柄開示（邦貨建及び外貨建）

(A) 国内（邦貨建）公社債

銘柄	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>(国債証券)</b>		%	千円	千円	
388回	利付国庫債券（2年）	0.1000	130,000	130,588	2020/05/15
348回	利付国庫債券（10年）	0.1000	430,000	433,766	2027/09/20
162回	利付国庫債券（20年）	0.6000	100,000	102,203	2037/09/20
164回	利付国庫債券（20年）	0.5000	50,000	50,000	2038/03/20
小	計	—	710,000	716,558	—
<b>(特殊債券)</b>		%	千円	千円	
194回	政保中小企業債券	1.5000	100,000	100,356	2018/09/18
1回	政保地方公営企業金融機構債券	1.6000	155,000	155,782	2018/10/16
71回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	300,000	302,157	2018/12/25
7回	政保地方公営企業金融機構債券	1.4000	100,000	101,155	2019/04/15
小	計	—	655,000	659,450	—
合	計	—	1,365,000	1,376,009	—

(B) 外国（外貨建）公社債

銘柄	柄	当 期					末
		種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
<b>(アメリカ)</b>			%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
US T N/B 7.5	11/15/24	国 債 証 券	7.5000	1,000	1,271	139,477	2024/11/15
小	計	—	—	1,000	1,271	139,477	—
<b>(イギリス)</b>			%	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円	
UK TREASURY 4.25	06/07/32	国 債 証 券	4.2500	500	665	96,664	2032/06/07
UK TREASURY 4.25	12/07/27	国 債 証 券	4.2500	1,300	1,638	238,228	2027/12/07
小	計	—	—	1,800	2,303	334,892	—
<b>(ユーロ…フランス)</b>			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
FRANCE OAT 2.75	10/25/27	国 債 証 券	2.7500	1,000	1,202	153,653	2027/10/25
小	計	—	—	1,000	1,202	153,653	—
合	計	—	—	—	—	628,023	—

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	柄	別	当 期		末
			買 建 額	売 建 額	額
外国	LONG GILT FUTURE		百万円		百万円
			—		89

(注) 外貨建の評価額は、期末の時価を期末の仲値により、邦貨換算したものです。

## ■投資信託財産の構成

2018年6月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 2,004,033	% 90.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	216,064	9.7
投 資 信 託 財 産 総 額	2,220,097	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、690,308千円、31.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年6月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.69円、1イギリス・ポンド=145.36円、1ユーロ=127.82円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年6月25日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,902,698,975円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	157,338,167
公 社 債(評価額)	2,004,033,144
未 収 入 金	686,860,930
未 収 利 息	5,020,580
前 払 費 用	2,347,019
差 入 委 託 証 拠 金	47,099,135
(B) 負 債	688,858,677
未 払 金	683,858,541
未 払 解 約 金	5,000,000
そ の 他 未 払 費 用	136
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,213,840,298
元 本	1,985,597,562
次 期 繰 越 損 益 金	228,242,736
(D) 受 益 権 総 口 数	1,985,597,562口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,149円

(注1) 期首元本額 2,239,735,573円  
追加設定元本額 105,793,600円  
一部解約元本額 359,931,611円

(注2) 期末における元本の内訳  
D I A M毎月分配債券ファンド 1,985,597,562円  
期末元本合計 1,985,597,562円

## ■損益の状況

当期 自2017年6月24日 至2018年6月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	47,341,548円
受 取 利 息	47,293,441
そ の 他 収 益 金	90,400
支 払 利 息	△42,293
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△67,542,655
売 買 益	112,988,545
売 買 損	△180,531,200
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	8,032,648
取 引 益	19,379,767
取 引 損	△11,347,119
(D) そ の 他 費 用	△188,912
(E) 当 期 損 益 金(A+B+C+D)	△12,357,371
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	270,162,096
(G) 解 約 差 損 益 金	△41,568,389
(H) 追 加 信 託 差 損 益 金	12,006,400
(I) 合 計(E+F+G+H)	228,242,736
次 期 繰 越 損 益 金(I)	228,242,736

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (H)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 《お知らせ》

■信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

(平成30年3月1日)